

第10回「ミニ観察会」実施概要

【実施日時】令和4年（2022）9月17日（土）19:30～9月18日（日）5:30

【実施場所】有峰ビジターセンター北側

【天候】曇（霧発生）→晴れ

【気温】22.3℃→19.2℃

【月齢】20.8（中潮）→21.8（中潮）

有峰ハウスに宿泊した3家族のご依頼で「ミニ観察会」を実施しました。参加者は、大人のみ5人。18:50ライトオン。19:30から「ミニ観察会」を開催しました。開催に先立ち、マスク着用、検温やアルコール消毒などコロナ対策を励行しながら、21:00過ぎまで実施しました。引き続き翌朝5:30までライトトラップを継続しました。

最初に、霜鳥主任指導員より有峰ダムや有峰の歴史、自然（動物や昆虫）を含めた有峰森林文化村の概要について説明、次に、灯火採集法について説明後、北口に回り、20時より「ミニ観察会」をスタートしました。前回同様、飛来した蛾類を同定しやすいように有峰版ミニ蛾類図鑑を準備しました。白幕には、既にトビイロケアリの羽蟻の他、ツノアオカメムシやムラサキトビケラなどが飛来しており、それらの昆虫類の生態等について説明を加えました。今回の1家族のミニ観察会参加への目的は、ライトトラップ体験やライトトラップに飛来する昆虫類、特に、以前家蚕（カイコ）の研究をされていたとのことと、野生のヤママユ（天蚕）を直に観察することでした。20:20過ぎには、待望のヤママユガ科のクスサン♀が次々と5頭飛来しました。参加者からは、クスサンが飛来する度に、歓声が上がりました。飛来した♀個体を採取し、手のひらに乗せ、その雄姿を直に観察したり、その生態について情報交換したりと会話が弾みました。♀個体と比較し、クスサン♂個体は夜中に集中し飛来しました。図1にクスサンの雌雄別飛来時間帯の推移を示しました。残念ながら9月13日～14日の灯火採集時と比較し、飛来昆虫類は種数、飛来頭数とも少なかったのですが、ヤママユガ科以外に、カレハガ科のクヌギカレハ、カギバ科のヒトツメカギバやヤガ科の仲間の観察も行いました。

翌朝6:00、昨日の参加者が来館、まず、参加者と白幕に止まっているヤママユ（天蚕）を目前で観察する嬉しいハプニングと遭遇、悲願が叶いました。さらに、夜中に飛来した合計12頭のクスサン♂の個体変異も観察しながら昆虫に関連した情報交換の場となりました。今回のミニ観察会も有峰の昆虫類の多様性を観察、体験いただく機会となりました。灯火採集の魅力・醍醐味は、何が飛来するか分からない楽しみがあること、あっと驚くようなものが観察できることです。「ミニ観察会」に参加して、有峰の昆虫類に接してみませんか？ 今後もこの企画に参加戴くことを期待しています。

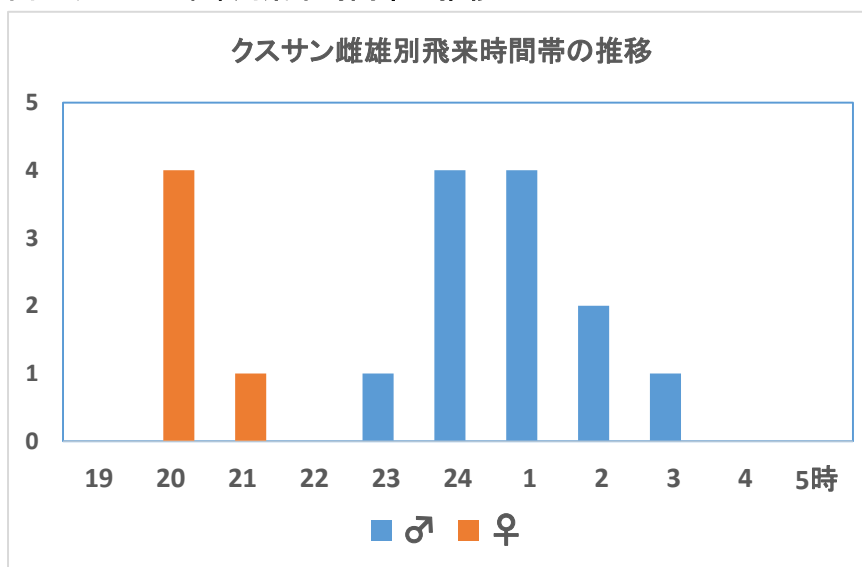
【参考文献】

- 1) 福田晴夫他：昆虫の図鑑 採集と標本の作り方/南方新社
- 2) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊（昭和56年7月）
- 3) 岸田泰則著：日本蛾類標準図鑑Ⅱ/学研
- 4) 井上 寛他：原色昆虫大図鑑（蛾・蝶編）/北隆館
- 5) 川合 禎次、谷田 一三共編：日本産水生昆虫 科・属・種への検索
- 6) 養老猛司他監修：ぼくらの昆虫採集/株式会社デコ

表1 飛来した昆虫類一覧

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤママユガ	クスサン	♂12 ♀5	23:20～3:10 20:10～21:35
	ヤママユ	♂1	1:20
シャクガ	チャマダラエダシャク	♀1	20:40
ヤガ	ヒメキンガ	♀2	20:29～21:25
	ゴマシオキシタハ	♀1	20:39
カギバ	ヒツメカギバ	♀1	21:00
カレハ	クヌギカレハ	♂1 ♀1	20:40 20:30
	ハネマイマイ	♂2	20:40～21:30
カマキリモドキ	カマキリモドキ	♂1 ♀2	20:15～20:50
ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	♀1	20:21～21:10
トビケラ	ムラサキトビケラ	♂1	19:40
アワフキムシ	シロオビアワフキ	♂6 ♀6	20:10～21:35
カメムシ	ツノアオカメムシ	♂5 ♀3	20:00～21:20
アリ	トビイロケアリ	羽蟻♂10 ♀6	19:30～20:20

図1 クスサン雌雄別飛来時間帯の推移



有峰森林文化村について説明中の霜鳥主任指導員



クスサンについて説明中の霜鳥主任指導員



クスサン観察中の参加者



クスサンを手に観察中の参加者



飛来昆虫同定中の参加者



ライトトラップと飛来したヤママユガ科



クスサン♂



クスサン♀



クヌギカレハ♀



ヤママユ♂



ヒトツメカギバ♀



ムラサキトビケラ♀